【募集代理店】

MIZUHO Channel to Discovery みずほ銀行

アクサ生命の変額個人年金保険

ほほえみの種

変額個人年金保険(08)A型

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社 AXA

redefining / standards

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3

アロケーションα(2010)
四半期運用実績レポート

（2011年1月～2011年3月）

【利用する投資信託の委託会社】

アライアンス・バーンスタイン株式会社

AllianceBernstein

アライアンス・バーンスタイン株式会社は、米国ニューヨークに本社を置くアライアンス・バーンスタイン・エル・ピーを中核とするアライアンス・バーンスタイン*の日本拠点です。アライアンス・バーンスタイン・エル・ピーは1971年の設立以来、資産運用会社として長年にわたる歴史を有し、世界各国の主要都市に業務展開を行い、個人投資家や富裕層、機関投資家向けに投資信託や年金運用等の投資サービスを提供しています。業界最大級のグローバルな調査体制を擁する世界有数の運用会社として、グロース株式、バリュー株式、債券、ブレンド戦略など、幅広い資産運用サービスや商品を提供しています。

*アライアンス・バーンスタインには、アライアンス・バーンスタイン・エル・ピーとその傘下の関連会社を含みます。

- アクサ生命保険株式会社の「変額個人年金保険(08)A型」は、特別勘定で運用を行う保険商品です。特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
- 当資料は、アクサ生命保険株式会社の「変額個人年金保険(08)A型」の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険の募集を目的としたものではありません。
- 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 商品内容の詳細については「契約締結前交付書面（契約概要／注意喚起情報）」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。
- 当資料に記載されている各表にある金額、比率、資産構成等はそれぞれの項目を四捨五入等していますので、合計等と合致しないことがあります。

変額個人年金保険(08)A型
特別勘定の四半期運用実績レポート　(2011年1月～2011年3月)

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
・当ページは、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき、アクサ生命保険株式会社が作成し提供するものです。情報の内容に関しては万全を期しておりますが、その正確性・完全性については、これを保証するものではありません。

運用環境　[2011年1月～2011年3月]

【日本株式市場】

日本株式市場は下落し、TOPIX(東証株価指数)は12月末比▲3．27%下落の869．38ポイントで終了しました。
1月は、堅調な欧米株式市場や為替が円安にふれたことなどから上昇して始まりました。景気回復への期待から2月中旬まで上昇基調が続きましたが、中東・北アフリカの政情不安により原油価格が上昇すると、世界経済への影響が懸念されたことなどから下落に転じました。さらに、3月11日に東日本大震災が発生すると、地震被害の拡大や原発事故の深刻化などを受けて大幅に下落しました。しかしその後、G7(先進主要7カ国)による為替の協調介入実施などが好感されたことなどから下げ幅を縮小しました。
業種別(東証33業種)では、原油価格の上昇を受けて「鉱業」(12月末比+31．95%)が最も上昇した一方、震災の影響が懸念される「電気・ガス業」(同▲24．34%)が最も下落しました。

【外国株式市場】

米国株式市場は、上昇し、NYダウは12月末比+6．41%上昇の12，319．73ドルで終了しました。
1月は、好調なマクロ指標や企業の好決算などを受けて上昇基調で始まりましたが、2月中旬以降、中東・北アフリカ政情不安による原油価格の上昇や3月11日の東日本大震災の発生などにより、株式市場は一時下落しました。しかし、G7による為替の協調介入実施を機に、3月下旬にかけては景気回復期待などから再び上昇に転じました。
欧州株式市場も米国市場同様の動きとなり、上昇しました。市場別騰落率は、英FT100は12月末比+0．15%上昇、仏CAC40は同+4．85%上昇、独DAXは同+1．84%上昇となりました。

【日本債券市場】

日本債券市場は、金利上昇基調で推移しましたが、2月下旬以降低下し、新発10年国債利回りは1．255%となりました(12月末は1．110%)。
株価が堅調に推移したことや米国長期金利が上昇したことなどから2月中旬に金利は一時1．35%近辺まで上昇しました。しかしその後、米国長期金利が低下したことや、株価が下落に転じたことなどから低下しました。東日本大震災発生後、3月中旬以降には、リスク回避の動きなどから買われる展開となり、金利が一時1．1%台に低下する局面もありました。しかしその後、年度末を控え震災復興予算を巡る国債増発への警戒感などから売り戻され、月末は1．26%近辺となりました。
日銀は、政策金利を据え置き、年0．1%を維持しました。
無担保コール(翌日物)は0．1%程度の水準で推移しました。

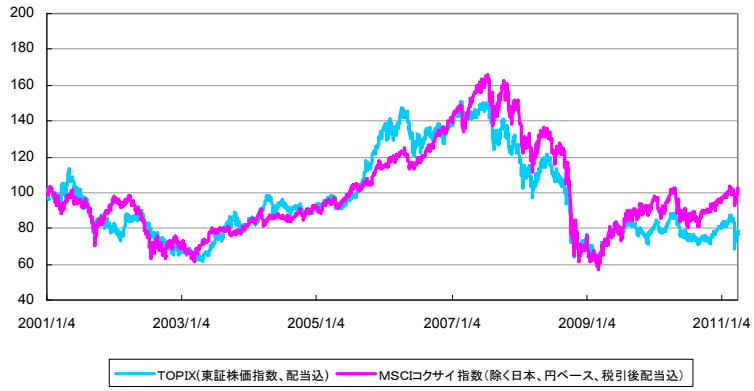
【外国債券市場】

米国債券市場は、景気回復期待などから金利が上昇したものの、中東・北アフリカの政情不安拡大や東日本大震災による株価の下落などを受けて、低下しました。その後、米国株価が上昇に転じたことなどから上昇し、米10年国債利回りは、3月末は3．470%となりました(12月末は3．294%)。
欧州債券市場は、ECB(欧州中央銀行)による利上げ観測の高まりなどを受けて、金利が上昇しました。一時、中東・北アフリカ政情不安や震災の影響から買われる局面もありましたが、期を通じて金利上昇基調で推移しました。独10年国債利回りは、3月末は3．354%となりました(12月末は2．963%)。
FRB(米連邦準備制度理事会)は、FF(フェデラル・ファンド)金利の誘導目標を据え置き、年0．0～0．25%を維持しました。ECBは政策金利を据え置き、年1．0%を維持しました。

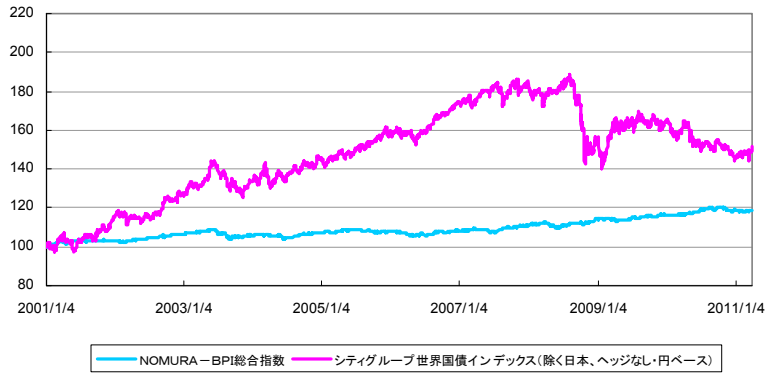
【外国為替市場】

米ドル／円相場は、3月中旬にかけて概ねレンジ内で揉み合いでの推移が続いた後、東日本大震災の発生を受けて、保険会社の円買い需要が高まるとの見方や、国内投資家が海外資産を売却し円資産を購入するとの見方などから円高が進行し、一時76円台前半の史上最高値を付けました。しかしその後は、G7による為替協調介入の実施などからドルが買われる展開となりました。円は対ドルで12月末比1円66銭(2．04%)円安ドル高の1ドル＝83円15銭となりました。
ユーロ／円相場は、ECBによる利上げ観測の高まりや円売り協調介入の実施などから、円安ユーロ高となりました。円は対ユーロで12月末比9円67銭(8．96%)円安ユーロ高の1ユーロ＝117円57銭となりました。

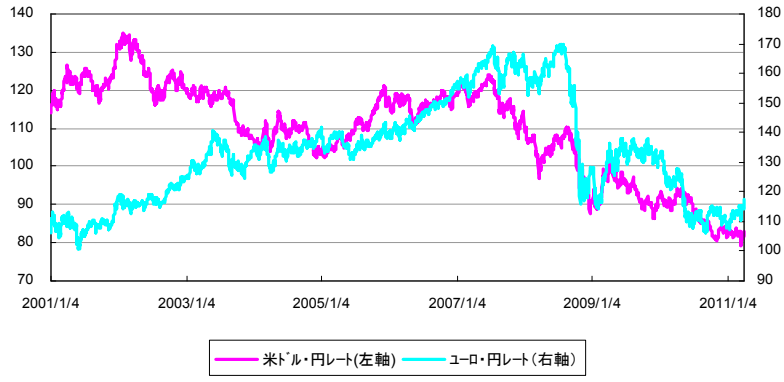
日本と外国の株式市場の推移
＊下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。



日本と外国の債券市場の推移
＊下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。



外国為替市場の推移



出所：株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場仲値

【取扱者（生命保険募集人）】
株式会社みずほ銀行

【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
お問合せ先：　カスタマーサービスセンター
Tel 0120-933-399
アクサ生命ホームページ http://www.axa.co.jp/life/

変額個人年金保険(08)A型
特別勘定の四半期運用実績レポート　(2011年1月～2011年3月)

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

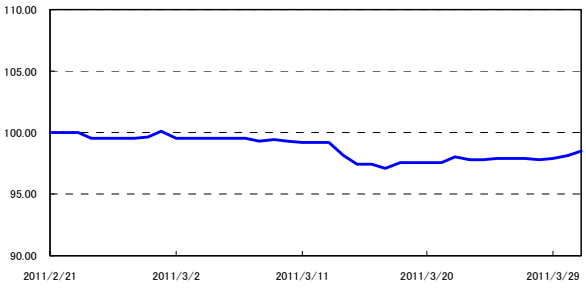
特別勘定の種類と運用方針について

特別勘定名	資産の種類	利用する投資信託		
		投資信託名	運用方針	委託会社
アロケーションα(2010)	日本債券 米国債券(円ベース) 米国債券(米ドル・ベース) 欧州債券(円ベース) 欧州債券(ユーロ・ベース) 日本株式 米国株式(米ドル・ベース) 欧州株式(ユーロ・ベース)	適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・グローバル・アロケーション(30／70)	● 当投資信託は、主として、マザーファンド受益証券、わが国の政府短期証券などの国債および政府保証付債券(短期国債など)、金融派生商品(デリバティブ)などを主要投資対象とし、信託財産の長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。 ● 各マザーファンド受益証券は各々のベンチマークに連動した投資成果を目指します。(各々のベンチマーク等は、4ページに記載しています。) ● 各マザーファンド受益証券が主要投資対象とする資産の価格変動性に応じて、実質的な資産配分を機動的に見直し、リスク・コントロールを図ります。 ● 実質的な株式への資産配分は、原則として当投資信託の純資産総額の10%～30%とします。リスク・コントロールの観点から、市場動向に応じて、実質的な株式への資産配分を機動的に見直します。実質的な株式への資産配分のうち、原則として50%を日本株式、25%を米国株式、25%を欧州株式に配分します。米国株式および欧州株式への配分に伴う実質的な組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 ● 実質的な債券への資産配分は、原則として当投資信託の純資産総額の70%～90%とします。リスク・コントロールの観点から、市場動向に応じて、実質的な債券への資産配分を機動的に見直します。実質的な債券への資産配分のうち、原則として40%～90%を日本債券、10%～60%を米国債券および欧州債券に配分します。原則として、実質的な債券への配分の15%相当を上限として、米ドルおよびユーロの通貨ポジションを保有します。 ● 信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、デリバティブ取引および外国為替予約取引を行うことができます。	アライアンス・バーンスタイン株式会社

※ 特別勘定の種類、運用方針および委託会社等の運用協力会社は、法令等の改正または効率的な資産運用が困難になる等の理由により、変更されることがあります。なお、委託会社等の運用協力会社については、運用成績の悪化等、弊社がお客さまの資産運用にふさわしくないと判断した場合、変更させていただくことがあります。
※ 特別勘定には、各種支払等に備え、一定の現金、預金等を保有することがあります。

特別勘定の運用状況　[2011年3月 末日現在]

■特別勘定のユニットプライスの推移
※ 特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



※ 特別勘定のユニットプライスは、特別勘定の設定日を100.00として計算しています。

アロケーションα(2010)			
特別勘定のユニットプライス		騰落率(%)	
2011年3月末	98.47	過去1ヶ月	▲1.22%
2011年2月末	99.69	過去3ヶ月	―
2011年1月末	―	過去6ヶ月	―
2010年12月末	―	過去1年	―
2010年11月末	―	過去3年	―
2010年10月末	―	設定来	▲1.53%

※ 実際のユニットプライスの小数点第三位を四捨五入して表示しています。
※ 騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する当月末のユニットプライスの変動率を表しています。
※ ユニットプライスは、弊社ホームページにて各営業日にご確認いただくことができます。

■特別勘定資産の内訳

項目	アロケーションα(2010)	
	金額(千円)	比率(%)
現預金・その他	336	0.40%
その他有価証券	75,155	99.60%
合計	75,491	100.00%

※ 各特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。
※ 金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

【取扱者(生命保険募集人)】
株式会社みずほ銀行

【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
お問合せ先:　カスタマーサービスセンター
Tel 0120-933-399
アクサ生命ホームページ http://www.axa.co.jp/life/

変額個人年金保険(08)A型
特別勘定の四半期運用実績レポート（2011年1月～2011年3月）

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

適格機関投資家私募アライアンス・バーンスタイン・グローバル・アロケーション（30／70）の運用状況　［2011年3月 末日現在］

■利用する投資信託について

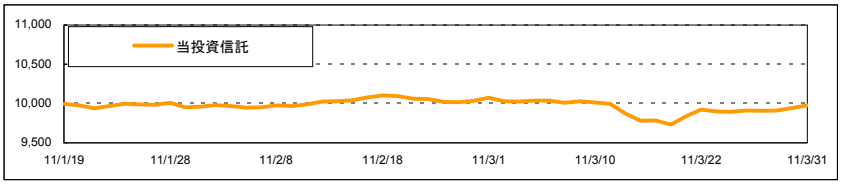
【投資信託名】適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・グローバル・アロケーション（30／70）　＊「当投資信託」と呼ぶことがあります。
【委託会社】　アライアンス・バーンスタイン株式会社
【運用方針】

当投資信託は、主として、マザーファンド受益証券、短期国債等およびデリバティブへ分散投資を行い、信託財産の長期的な成長を目指します。各マザーファンドが主要投資対象とする資産の価格変動性に応じて、実質的な資産配分を機動的に見直し、リスク・コントロールを図ります。各マザーファンドは各々のベンチマークに連動した投資成果を目指します。
当投資信託では、米国債券に配分された純資産のうち25%は米ドル・ベースに、欧州債券に配分された純資産のうち25%はユーロ・ベースとすべく為替取引を行います。米欧株式マザーファンド受益証券の実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、デリバティブ取引および外国為替予約取引を行うことができます。

■各マザーファンドとベンチマーク

利用する投資信託名	資産の種類	マザーファンド受益証券 正式名称	マザーファンド受益証券 略称名称	ベンチマーク	参照ページ
適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・グローバル・アロケーション（30／70）	日本債券	アライアンス・バーンスタイン・日本債券インデックス・マザーファンド受益証券	日本債券インデックスMファンド	バークレイズ・キャピタル日本10年国債先物インデックス＊1	5ページ
	米国債券（円ベース）	アライアンス・バーンスタイン・米国債券インデックス（円ベース）・マザーファンド受益証券	米国債券インデックスMファンド	バークレイズ・キャピタル米国10年国債先物インデックス（円ヘッジ）＊2	6ページ
	米国債券（米ドル・ベース）				
	欧州債券（円ベース）	アライアンス・バーンスタイン・欧州債券インデックス（円ベース）・マザーファンド受益証券	欧州債券インデックスMファンド	バークレイズ・キャピタル・ユーロ10年国債先物インデックス（円ヘッジ）＊3	7ページ
	欧州債券（ユーロ・ベース）				
	日本株式	アライアンス・バーンスタイン・日本株式インデックス・マザーファンド受益証券	日本株式インデックスMファンド	TOPIX（東証株価指数、配当込み）＊4	8ページ
	米国株式（米ドル・ベース）	アライアンス・バーンスタイン・米国株式インデックス・マザーファンド受益証券	米国株式インデックスMファンド	S&P500株価指数＊5（円ベース）	9ページ
	欧州株式（ユーロ・ベース）	アライアンス・バーンスタイン・欧州株式インデックス・マザーファンド受益証券	欧州株式インデックスMファンド	ダウ・ジョーンズ・ユーロ・ストックス50種インデックス＊6（円ベース）	10ページ

■当投資信託の基準価額の推移



※　投資信託の設定日（2011年1月19日）を10，000として指数化しています。
※　左記のグラフ中の「当投資信託」は基準価額（分配金(課税前)再投資）を用いており、課税前分配金を決算日の基準価額で全額再投資したと仮定した場合の推移を示しています。

■当投資信託の概況

	当月末	前月末	前月末比
基準価額	9,975円	10,036円	-61円
純資産総額（百万円）	85	10	+ 75

	基準価額	日付
設定来高値	10,102円	2011年2月18日
設定来安値	9,731円	2011年3月17日

※　純資産総額は単位未満切捨てで処理しています。

■当投資信託の騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	▲0.61%	－	－	－	－	▲0.25%

※　設定来の騰落率は、投資信託の設定日（2011年1月19日）を起点として計算しています。
※　投資信託の騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。
また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。

■当投資信託の資産構成

金融派生商品を使用する場合、現預金等の投資比率が高くなることがあります。

	当投資信託の資産構成	当投資信託の実質的な資産配分割合
日本債券インデックスMファンド	42.27%	42.60%
米国債券インデックスMファンド	16.29%	16.40%
欧州債券インデックスMファンド	16.24%	16.40%
日本株式インデックスMファンド	12.38%	12.30%
米国株式インデックスMファンド	6.32%	6.15%
欧州株式インデックスMファンド	6.24%	6.15%
現金等	0.27%	0.00%
合計	100.0%	100.00%

※　当投資信託の資産構成は、純資産総額に対する比率です。
※　当投資信託の実質的な資産配分割合は、各マザーファンドが主要投資対象とする資産の価格変動性に応じて、週次で算出された値です。
申込日・特別勘定繰入日における資産配分割合は、記載の資産配分割合と異なる場合があります。
※　計理処理の仕組み上、直近の追加設定分が反映されないことなどにより「現金等」の値がマイナスで表示されることがあります。

■当投資信託の分配金実績（税引前）

	直近期	2期前	3期前	4期前	5期前	6期前	設定来累計
決算日	－	－	－	－	－	－	－
分配金	－	－	－	－	－	－	－

※　1万口当たりの税引前分配実績です。

・表示桁未満の数値がある場合、原則四捨五入で処理しています。　・4ページ～10ページに記載されている「*1～*6」の用語説明は、11ページに記載しています。

【取扱者（生命保険募集人）】
株式会社みずほ銀行

【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
お問合せ先：　カスタマーサービスセンター
Tel 0120-933-399
アクサ生命ホームページ http://www.axa.co.jp/life/

変額個人年金保険(08)A型
特別勘定の四半期運用実績レポート　(2011年1月～2011年3月)

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

《参考情報》 アライアンス・バーンスタイン・日本債券インデックス・マザーファンド受益証券　[2011年3月 末日現在]

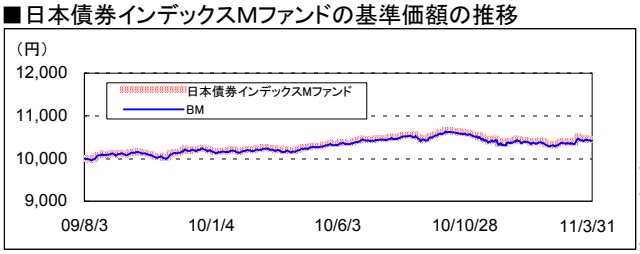
■マザーファンド受益証券(日本債券インデックスMファンド)について

【投資信託名】　アライアンス・バーンスタイン・日本債券インデックス・マザーファンド受益証券　＊「日本債券インデックスMファンド」と呼ぶことがあります。
【委託会社】　アライアンス・バーンスタイン株式会社
【運用方針等】

主として、わが国の国債および国内外の主要取引所に上場する債券先物に投資します。

① バークレイズ・キャピタル日本10年国債先物インデックス*1をベンチマークとし、その動きに連動する投資成果を目標として運用を行います。
② 公社債の実質組入(組入現物公社債の時価総額に債券先物取引の買建玉の時価総額を加算し、債券先物取引の売建玉の時価総額を控除した額の信託財産の純資産総額に対する割合をいいます。)は、原則として高位を維持します。
③ 債券先物取引を活用します。このため、債券の組入総額と債券先物取引の買建玉の時価総額の合計額が、信託財産の純資産総額を超えることがあります。
④ 国内において行われる有価証券先物取引および金利に係る先物取引ならびに外国の市場における有価証券先物取引および金利に係る先物取引と類似の取引を行うことができます。
⑤ 信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、金利スワップ取引を行うことができます。
⑥ 資金動向、市況動向の急激な変化が生じたとき等および信託財産の規模によっては、上記の運用ができない場合があります。

■日本債券インデックスMファンドの基準価額の推移



※　投資信託の設定日(2009年8月3日)を10，000として指数化しています。
※　左記のグラフ中の「日本債券インデックスMファンド」は「日本債券インデックスMファンド」の基準価額の推移を示しています。
※「BM」とは、ベンチマークを指します。

■日本債券インデックスMファンドの概況

	当月末
基準価額	10,452円
純資産総額(百万円)	109,639

※　純資産総額は単位未満切捨てで処理しています。

■日本債券インデックスMファンドの騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	0.62%	▲0.13%	▲1.50%	2.71%	―	4.52%
BM	0.60%	▲0.16%	▲1.56%	2.60%	―	4.17%
差	0.01%	0.03%	0.06%	0.11%	―	0.35%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2009年8月3日)を起点として計算しています。
※ 投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。
※「BM」とは、ベンチマークを指します。

■日本債券インデックスMファンドの詳細情報

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

先物を中心とした運用を行っているため、国債証券、先物の証拠金、現預金等の投資比率が高くなっております。

○ 資産構成比率等

資産の種類および銘柄名	国／地域	クーポン	償還日	投資比率
国債証券	―	―	―	**72.40%**
第162回国庫短期証券	日本	0.000%	2011年4月11日	46.06%
第171回国庫短期証券	日本	0.000%	2011年5月16日	26.34%
―	―	―	―	―
証拠金	―	―	―	**1.53%**
現預金等	―	―	―	**26.07%**
合計	―	―	―	**100.00%**

※「クーポン」とは、債券の額面に対して毎年受け取れる利息の割合のことで表面利率を表します。
※「証拠金」は国内外の主要取引所に上場する先物に投資する際に必要となります。

※ その他投資資産の主要なもの

取引所	資産の種類	買建/売建	通貨	投資比率
東京証券取引所	有価証券先物取引 長期国債先物取引　2011年6月限	買建	日本円	**99.92%**

■ご参考　：　ベンチマークである「バークレイズ・キャピタル日本10年国債先物インデックス*1」の情報

○ 資産構成比率等

取引所	資産の種類	通貨	比率
東京証券取引所	有価証券先物取引 長期国債先物取引　2011年6月限	日本円	**100.00%**

・表示桁未満の数値がある場合、原則四捨五入で処理しています。　・4ページ～10ページに記載されている「*1～*6」の用語説明は、11ページに記載しています。

【取扱者(生命保険募集人)】
株式会社みずほ銀行

【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
お問合せ先:　カスタマーサービスセンター
Tel 0120-933-399
アクサ生命ホームページ http://www.axa.co.jp/life/

変額個人年金保険(08)A型
特別勘定の四半期運用実績レポート　(2011年1月～2011年3月)

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

《参考情報》 アライアンス・バーンスタイン・米国債券インデックス(円ベース)・マザーファンド受益証券　[2011年3月 末日現在]

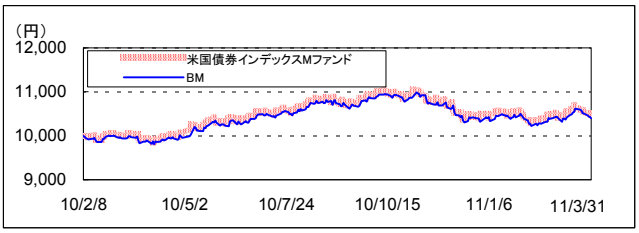
■マザーファンド受益証券(米国債券インデックスMファンド)について

【投資信託名】　アライアンス・バーンスタイン・米国債券インデックス(円ベース)・マザーファンド受益証券　＊「米国債券インデックスMファンド」と呼ぶことがあります。
【委託会社】　アライアンス・バーンスタイン株式会社
【運用方針等】

主として、わが国の国債および国内外の主要取引所に上場する債券先物に投資します。

① バークレイズ・キャピタル米国10年国債先物インデックス(円ヘッジ)*2をベンチマークとし、その動きに連動する投資成果を目標として運用を行います。
② 公社債の実質組入(組入現物公社債の時価総額に債券先物取引の買建玉の時価総額を加算し、債券先物取引の売建玉の時価総額を控除した額の信託財産の純資産総額に対する割合をいいます。)は、原則として高位を維持します。
③ 債券先物取引を活用します。このため、債券の組入総額と債券先物取引の買建玉の時価総額の合計額が、信託財産の純資産総額を超えることがあります。
④ 国内において行われる有価証券先物取引および金利に係る先物取引ならびに外国の市場における有価証券先物取引および金利に係る先物取引と類似の取引を行うことができます。
⑤ 信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、金利スワップ取引を行うことができます。
⑥ 資金動向、市況動向の急激な変化が生じたとき等および信託財産の規模によっては、上記の運用ができない場合があります。

■米国債券インデックスMファンドの基準価額の推移



■米国債券インデックスMファンドの概況

	当月末
基準価額	10,510円
純資産総額(百万円)	10,103

※　純資産総額は単位未満切捨てで処理しています。

※　投資信託の設定日(2010年2月8日)を10,000として指数化しています。
※　左記のグラフ中の「米国債券インデックスMファンド」は「米国債券インデックスMファンド」の基準価額の推移を示しています。
※　「BM」とは、ベンチマークを指します。

■米国債券インデックスMファンドの騰落率

	過去1カ月	過去3カ月	過去6カ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	0.13%	0.10%	▲3.77%	5.85%	―	5.10%
BM	0.14%	0.11%	▲3.89%	5.74%	―	4.33%
差	▲0.01%	▲0.00%	0.12%	0.11%	―	0.77%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2010年2月8日)を起点として計算しています。
※ 投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。
※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。

■米国債券インデックスMファンドの詳細情報　・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

先物を中心とした運用を行っているため、国債証券、先物の証拠金、現預金等の投資比率が高くなっております。

○ 資産構成比率等

資産の種類および銘柄名	国／地域	クーポン	償還日	投資比率
国債証券	―	―	―	**69.28%**
第162回国庫短期証券	日本	0.000%	2011年4月11日	38.90%
第171回国庫短期証券	日本	0.000%	2011年5月16日	30.38%
―	―	―	―	―
証拠金	―	―	―	**2.95%**
現預金等	―	―	―	**27.77%**
合計	―	―	―	**100.00%**

※「クーポン」とは、債券の額面に対して毎年受け取れる利息の割合のことで表面利率を表します。
※「証拠金」は国内外の主要取引所に上場する先物に投資する際に必要となります。

※ その他投資資産の主要なもの

取引所	資産の種類	買建/売建	通貨	投資比率
シカゴ商業取引所	有価証券先物取引 米国10年国債先物取引　2011年6月限	買建	米ドル	**100.59%**

■ご参考　：　ベンチマークである「バークレイズ・キャピタル米国10年国債先物インデックス(円ヘッジ)*2」の情報

○ 資産構成比率等

取引所	資産の種類	通貨	比率
シカゴ商業取引所	有価証券先物取引 米国10年国債先物取引　2011年6月限	日本円	**100.00%**

・表示桁未満の数値がある場合、原則四捨五入で処理しています。　・4ページ～10ページに記載されている「*1～*6」の用語説明は、11ページに記載しています。

【取扱者(生命保険募集人)】
株式会社みずほ銀行

【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
お問合せ先:　カスタマーサービスセンター
Tel 0120-933-399
アクサ生命ホームページ http://www.axa.co.jp/life/

変額個人年金保険(08)A型
特別勘定の四半期運用実績レポート　(2011年1月～2011年3月)

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

《参考情報》 アライアンス・バーンスタイン・欧州債券インデックス(円ベース)・マザーファンド受益証券　[2011年3月 末日現在]

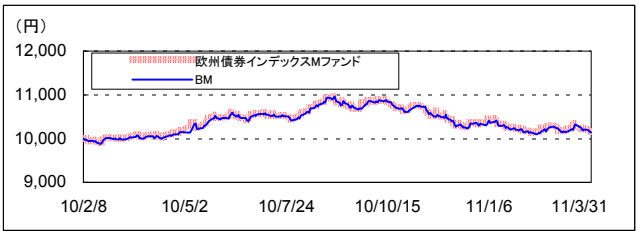
■マザーファンド受益証券(欧州債券インデックスMファンド)について

【投資信託名】　アライアンス・バーンスタイン・欧州債券インデックス(円ベース)・マザーファンド受益証券　＊「欧州債券インデックスMファンド」と呼ぶことがあります。
【委託会社】　アライアンス・バーンスタイン株式会社
【運用方針等】

主として、わが国の国債および国内外の主要取引所に上場する債券先物に投資します。

① バークレイズ・キャピタル・ユーロ10年国債先物インデックス(円ヘッジ)*3をベンチマークとし、その動きに連動する投資成果を目標として運用を行います。
② 公社債の実質組入(組入現物公社債の時価総額に債券先物取引の買建玉の時価総額を加算し、債券先物取引の売建玉の時価総額を控除した額の信託財産の純資産総額に対する割合をいいます。)は、原則として高位を維持します。
③ 債券先物取引を活用します。このため、債券の組入総額と債券先物取引の買建玉の時価総額の合計額が、信託財産の純資産総額を超えることがあります。
④ 国内において行われる有価証券先物取引および金利に係る先物取引ならびに外国の市場における有価証券先物取引および金利に係る先物取引と類似の取引を行うことができます。
⑤ 信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、金利スワップ取引を行うことができます。
⑥ 資金動向、市況動向の急激な変化が生じたとき等および信託財産の規模によっては、上記の運用ができない場合があります。

■欧州債券インデックスMファンドの基準価額の推移



■欧州債券インデックスMファンドの概況

	当月末
基準価額	10,168円
純資産総額(百万円)	10,059

※　純資産総額は単位未満切捨てで処理しています。

※　投資信託の設定日(2010年2月8日)を10，000として指数化しています。
※　左記のグラフ中の「欧州債券インデックスMファンド」は「欧州債券インデックスMファンド」の基準価額の推移を示しています。
※　「BM」とは、ベンチマークを指します。

■欧州債券インデックスMファンドの騰落率

	過去1カ月	過去3カ月	過去6カ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	▲1.24%	▲1.63%	▲6.51%	1.06%	―	1.68%
BM	▲1.22%	▲1.61%	▲6.67%	1.03%	―	1.37%
差	▲0.03%	▲0.03%	0.16%	0.03%	―	0.31%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2010年2月8日)を起点として計算しています。
※ 投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。
※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。

■欧州債券インデックスMファンドの詳細情報　・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

先物を中心とした運用を行っているため、国債証券、先物の証拠金、現預金等の投資比率が高くなっております。

○ 資産構成比率等

資産の種類および銘柄名	国／地域	クーポン	償還日	投資比率
国債証券	―	―	―	**73.16%**
第162回国庫短期証券	日本	0.000%	2011年4月11日	41.25%
第171回国庫短期証券	日本	0.000%	2011年5月16日	31.90%
―	―	―	―	―
証拠金	―	―	―	**2.63%**
現預金等	―	―	―	**24.21%**
合計	―	―	―	**100.00%**

※「クーポン」とは、債券の額面に対して毎年受け取れる利息の割合のことで表面利率を表します。
※「証拠金」は国内外の主要取引所に上場する先物に投資する際に必要となります。

※ その他投資資産の主要なもの

取引所	資産の種類	買建/売建	通貨	投資比率
ユーレックス・ドイツ金融先物取引所	有価証券先物取引 ドイツ10年国債先物取引　2011年6月限	買建	ユーロ	**101.61%**

■ご参考　：　ベンチマークである「バークレイズ・キャピタル・ユーロ10年国債先物インデックス(円ヘッジ)*3」の情報

○ 資産構成比率等

取引所	資産の種類	通貨	比率
ユーレックス・ドイツ金融先物取引所	有価証券先物取引 ドイツ10年国債先物取引　2011年6月限	日本円	**100.00%**

・表示桁未満の数値がある場合、原則四捨五入で処理しています。　・4ページ～10ページに記載されている「*1～*6」の用語説明は、11ページに記載しています。

【取扱者（生命保険募集人）】
株式会社みずほ銀行

【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
お問合せ先:　カスタマーサービスセンター
Tel 0120-933-399
アクサ生命ホームページ http://www.axa.co.jp/life/

変額個人年金保険(08)A型
特別勘定の四半期運用実績レポート（2011年1月～2011年3月）

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

《参考情報》 アライアンス・バーンスタイン・日本株式インデックス・マザーファンド受益証券 ［ 2011年3月 末日現在 ］

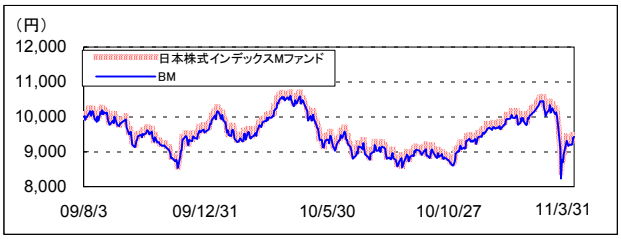
■マザーファンド受益証券（日本株式インデックスMファンド）について

【投資信託名】 アライアンス・バーンスタイン・日本株式インデックス・マザーファンド受益証券 ＊「日本株式インデックスMファンド」と呼ぶことがあります。
【委託会社】 アライアンス・バーンスタイン株式会社
【運用方針等】

主として、わが国の国債に投資するとともに、TOPIX（東証株価指数、配当込み）*4の動きに連動する主要取引所株価指数先物に投資します。
ただし、TOPIXに採用されている企業の株式に投資する場合があります。

① TOPIX（東証株価指数、配当込み）*4をベンチマークとし、その動きに連動する投資成果を目標として運用を行います。
② 株式の実質組入（組入現物株式の時価総額に株価指数先物取引等の買建玉の時価総額を加算し、株価指数先物取引等の売建玉の時価総額を控除した額の信託財産の純資産総額に対する割合をいいます。）は原則として高位を維持します。
③ 株価指数先物取引等を活用します。このため、株式の組入総額と株価指数先物取引等の買建玉の時価総額の合計額が、信託財産の純資産総額を超えることがあります。
④ 資金動向、市況動向の急激な変化が生じたとき等および信託財産の規模によっては、上記の運用ができない場合があります。

■日本株式インデックスMファンドの基準価額の推移



■日本株式インデックスMファンドの概況

	当月末
基準価額	9,469円
純資産総額（百万円）	16,489

※ 純資産総額は単位未満切捨てで処理しています。

※ 投資信託の設定日（2009年8月3日）を10，000として指数化しています。
※ 左記のグラフ中の「日本株式インデックスMファンド」は「日本株式インデックスMファンド」の基準価額の推移を示しています。
※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。

■日本株式インデックスMファンドの騰落率

	過去1カ月	過去3カ月	過去6カ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	▲8.13%	▲2.49%	5.87%	▲9.53%	―	▲5.31%
BM	▲7.61%	▲2.18%	6.10%	▲9.23%	―	▲5.71%
差	▲0.52%	▲0.31%	▲0.23%	▲0.30%	―	0.40%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日（2009年8月3日）を起点として計算しています。
※ 投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。
※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。

■日本株式インデックスMファンドの詳細情報 ・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

先物を中心とした運用を行っているため、国債証券、先物の証拠金、現預金等の投資比率が高くなっております。

○ 資産構成比率等

資産の種類および銘柄名		国／地域	クーポン	償還日	投資比率
国債証券		―	―	―	**74.59%**
	第171回国庫短期証券	日本	0.000%	2011年5月16日	46.08%
	第162回国庫短期証券	日本	0.000%	2011年4月11日	28.50%
	―	―	―	―	―
	―	―	―	―	―
証拠金		―	―	―	**14.67%**
現預金等		―	―	―	**10.75%**
合計		―	―	―	**100.00%**

※ 「クーポン」とは、債券の額面に対して毎年受け取れる利息の割合のことで表面利率を表します。
※ 「証拠金」は国内外の主要取引所に上場する先物に投資する際に必要となります。

※ その他投資資産の主要なもの

取引所	資産の種類	買建/売建	通貨	投資比率
東京証券取引所	有価証券先物取引 TOPIX先物取引 2011年6月限	買建	日本円	**99.78%**

■ご参考 ： ベンチマークである「TOPIX（東証株価指数、配当込み）*4」の情報

○ 組入上位10銘柄

	銘柄	業種	比率
1	トヨタ自動車	輸送用機器	3.69%
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	2.46%
3	本田技研工業	輸送用機器	2.26%
4	キヤノン	電気機器	1.93%
5	三井住友フィナンシャル・グループ	銀行業	1.65%
6	三菱商事	卸売業	1.56%
7	みずほフィナンシャル・グループ	銀行業	1.43%
8	武田薬品工業	医薬品	1.30%
9	ソニー	電気機器	1.28%
10	ソフトバンク	情報・通信業	1.24%
合計			18.80%

○ 業種別構成比率

	業種	比率
1	電気機器	14.75%
2	輸送用機器	10.10%
3	銀行業	9.12%
4	化学	5.96%
5	情報・通信業	5.81%
6	卸売業	5.67%
7	機械	5.45%
8	医薬品	4.50%
9	電気・ガス業	3.67%
10	その他	34.97%
合計		100.00%

※ 業種は、東京証券取引所の33業種分類で区分しています。

・表示桁未満の数値がある場合、原則四捨五入で処理しています。 ・4ページ～10ページに記載されている「*1～*6」の用語説明は、11ページに記載しています。

変額個人年金保険(08)A型
特別勘定の四半期運用実績レポート（2011年1月～2011年3月）

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

《参考情報》 アライアンス・バーンスタイン・米国株式インデックス・マザーファンド受益証券 ［ 2011年3月 末日現在 ］

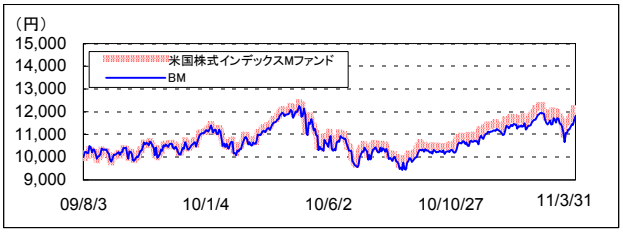
■マザーファンド受益証券（米国株式インデックスMファンド）について

【投資信託名】 アライアンス・バーンスタイン・米国株式インデックス・マザーファンド受益証券 ＊「米国株式インデックスMファンド」と呼ぶことがあります。
【委託会社】 アライアンス・バーンスタイン株式会社
【運用方針等】

主として、米国の国債に投資するとともに、S&P500株価指数*5（円ベース）の動きに連動する主要取引所株価指数先物に投資します。
ただし、S&P500株価指数に採用されている企業の株式に投資する場合があります。

① S&P500株価指数*5（円ベース）をベンチマークとし、その動きに連動する投資成果を目標として運用を行います。
② 株式の実質組入（組入現物株式の時価総額に株価指数先物取引等の買建玉の時価総額を加算し、株価指数先物取引等の売建玉の時価総額を控除した額の信託財産の純資産総額に対する割合をいいます。）は原則として高位を維持します。
③ 株価指数先物取引等を活用します。このため、株式の組入総額と株価指数先物取引等の買建玉の時価総額の合計額が、信託財産の純資産総額を超えることがあります。
④ 外貨建資産に対する為替ヘッジは、原則として行いません。
⑤ 信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、外国為替予約取引を行うことができます。
⑥ 資金動向、市況動向の急激な変化が生じたとき等および信託財産の規模によっては、上記の運用ができない場合があります。

■米国株式インデックスMファンドの基準価額の推移



■米国株式インデックスMファンドの概況

	当月末
基準価額	12,153円
純資産総額（百万円）	8,503

※ 純資産総額は単位未満切捨てで処理しています。

※ 投資信託の設定日（2009年8月3日）を10，000として指数化しています。
※ 左記のグラフ中の「米国株式インデックスMファンド」は「米国株式インデックスMファンド」の基準価額の推移を示しています。
※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。

■米国株式インデックスMファンドの騰落率

	過去1カ月	過去3カ月	過去6カ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	2.57%	8.02%	16.05%	2.90%	―	21.53%
BM	2.41%	7.58%	15.11%	1.18%	―	18.05%
差	0.16%	0.43%	0.95%	1.73%	―	3.48%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日（2009年8月3日）を起点として計算しています。
※ 投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。
※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。

■米国株式インデックスMファンドの詳細情報 ・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

先物を中心とした運用を行っているため、国債証券、先物の証拠金、現預金等の投資比率が高くなっております。

○ 資産構成比率等

資産の種類および銘柄名	国／地域	クーポン	償還日	投資比率
国債証券	―	―	―	**63.12%**
US TREASURY BILL	アメリカ	0.000%	2011年6月16日	63.12%
―	―	―	―	―
―	―	―	―	―
証拠金	―	―	―	**23.67%**
現預金等	―	―	―	**13.21%**
合計	―	―	―	**100.00%**

※ 「クーポン」とは、債券の額面に対して毎年受け取れる利息の割合のことで表面利率を表します。
※ 「証拠金」は国内外の主要取引所に上場する先物に投資する際に必要となります。

※ その他投資資産の主要なもの

取引所	資産の種類	買建/売建	通貨	投資比率
シカゴ商業取引所	有価証券指数等先物取引 S&P 500先物取引 2011年6月限	買建	米ドル	**99.62%**

■ご参考 ： ベンチマークである「S&P500株価指数*5（円ベース）」の情報

○ 組入上位10銘柄

	銘柄	国名	セクター	比率
1	エクソン・モービル	アメリカ	エネルギー	3.46%
2	アップル	アメリカ	情報技術	2.66%
3	シェブロン	アメリカ	エネルギー	1.79%
4	ゼネラル・エレクトリック	アメリカ	資本財・サービス	1.76%
5	IBM	アメリカ	情報技術	1.65%
6	マイクロソフト	アメリカ	情報技術	1.55%
7	JPモルガン・チェース	アメリカ	金融	1.52%
8	AT&T	アメリカ	電気通信サービス	1.50%
9	プロクター・アンド・ギャンブル	アメリカ	生活必需品	1.43%
10	ウェルズ・ファーゴ	アメリカ	金融	1.38%
合計				18.70%

○ セクター別構成比率

	セクター	比率
1	情報技術	18.11%
2	金融	15.82%
3	エネルギー	13.29%
4	資本財・サービス	11.21%
5	ヘルスケア	10.97%
6	一般消費財・サービス	10.47%
7	生活必需品	10.22%
8	素材	3.67%
9	公益事業	3.19%
10	電気通信サービス	3.04%
合計		100.00%

※ セクターは、GICS（世界産業分類基準）の10業種分類で区分しています。
（GICSとはMSCI Inc.とS&P（スタンダード・アンド・プアーズ社）との共同開発による業種分類基準であり、Global Industry Classification Standard の略称です。）

・表示桁未満の数値がある場合、原則四捨五入で処理しています。 ・4ページ～10ページに記載されている「*1～*6」の用語説明は、11ページに記載しています。

【取扱者（生命保険募集人）】
株式会社みずほ銀行

【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
お問合せ先： カスタマーサービスセンター
Tel 0120-933-399
アクサ生命ホームページ http://www.axa.co.jp/life/

変額個人年金保険(08)A型
特別勘定の四半期運用実績レポート（2011年1月～2011年3月）

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

《参考情報》 アライアンス・バーンスタイン・欧州株式インデックス・マザーファンド受益証券 ［ 2011年3月 末日現在 ］

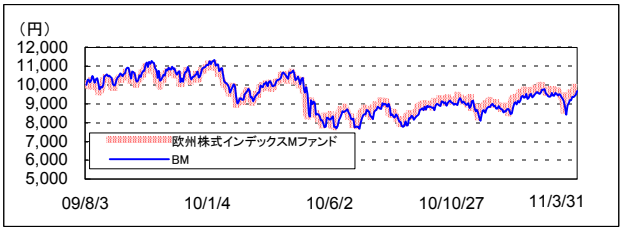
■マザーファンド受益証券（欧州株式インデックスMファンド）について

【投資信託名】 アライアンス・バーンスタイン・欧州株式インデックス・マザーファンド受益証券 ＊「欧州株式インデックスMファンド」と呼ぶことがあります。
【委託会社】 アライアンス・バーンスタイン株式会社
【運用方針等】

主として、欧州の国債に投資するとともに、ダウ・ジョーンズ・ユーロ・ストックス50種インデックス*6（円ベース）の動きに連動する主要取引所株価指数先物に投資します。ただし、ダウ・ジョーンズ・ユーロ・ストックス50種インデックスに採用されている企業の株式に投資する場合があります。

① ダウ・ジョーンズ・ユーロ・ストックス50種インデックス*6（円ベース）をベンチマークとし、その動きに連動する投資成果を目標として運用を行います。
② 株式の実質組入（組入現物株式の時価総額に株価指数先物取引等の買建玉の時価総額を加算し、株価指数先物取引等の売建玉の時価総額を控除した額の信託財産の純資産総額に対する割合をいいます。）は原則として高位を維持します。
③ 株価指数先物取引等を活用します。このため、株式の組入総額と株価指数先物取引等の買建玉の時価総額の合計額が、信託財産の純資産総額を超えることがあります。
④ 外貨建資産に対する為替ヘッジは、原則として行いません。
⑤ 信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、外国為替予約取引を行うことができます。
⑥ 資金動向、市況動向の急激な変化が生じたとき等および信託財産の規模によっては、上記の運用ができない場合があります。

■欧州株式インデックスMファンドの基準価額の推移



※ 投資信託の設定日（2009年8月3日）を10，000として指数化しています。
※ 左記のグラフ中の「欧州株式インデックスMファンド」は「欧州株式インデックスMファンド」の基準価額の推移を示しています。
※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。

■欧州株式インデックスMファンドの概況

	当月末
基準価額	9,907円
純資産総額（百万円）	8,560

※ 純資産総額は単位未満切捨てで処理しています。

■欧州株式インデックスMファンドの騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	3.25%	12.80%	10.41%	▲3.02%	―	▲0.93%
BM	3.14%	12.61%	9.78%	▲5.99%	―	▲3.10%
差	0.12%	0.18%	0.63%	2.96%	―	2.17%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日（2009年8月3日）を起点として計算しています。
※ 投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。
※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。

■欧州株式インデックスMファンドの詳細情報 ・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

先物を中心とした運用を行っているため、国債証券、先物の証拠金、現預金等の投資比率が高くなっております。

○ 資産構成比率等

資産の種類および銘柄名		国／地域	クーポン	償還日	投資比率
国債証券		―	―	―	**66.53%**
	BELGIUM TREASURY BILL	ベルギー	0.000%	2011年6月16日	66.53%
	―	―	―	―	―
	―	―	―	―	―
証拠金		―	―	―	**15.93%**
現預金等		―	―	―	**17.54%**
合計		―	―	―	**100.00%**

※ 「クーポン」とは、債券の額面に対して毎年受け取れる利息の割合のことで表面利率を表します。
※ 「証拠金」は国内外の主要取引所に上場する先物に投資する際に必要となります。

※ その他投資資産の主要なもの

取引所	資産の種類	買建/売建	通貨	投資比率
ユーレックス・ドイツ金融先物取引所	有価証券指数等先物取引 EURO STOXX 50先物取引 2011年6月限	買建	ユーロ	**99.59%**

■ご参考 ： ベンチマークである「ダウ・ジョーンズ・ユーロ・ストックス50種インデックス*6（円ベース）」の情報

○ 組入上位10銘柄

	銘柄	国名	セクター	比率
1	トタル	フランス	エネルギー	5.83%
2	シーメンス	ドイツ	資本財・サービス	5.10%
3	テレフォニカ	スペイン	電気通信サービス	4.30%
4	サンタンデール銀行	スペイン	金融	4.23%
5	BASF	ドイツ	素材	3.43%
6	サノフィ・アベンティス	フランス	ヘルスケア	3.39%
7	BNPパリバ	フランス	金融	3.15%
8	バイエル	ドイツ	ヘルスケア	2.76%
9	アリアンツ	ドイツ	金融	2.74%
10	ダイムラー	ドイツ	一般消費財・サービス	2.72%
合計				37.65%

○ セクター別構成比率

	セクター	比率
1	金融	28.45%
2	資本財・サービス	11.53%
3	エネルギー	9.62%
4	公益事業	9.23%
5	電気通信サービス	8.81%
6	生活必需品	8.02%
7	素材	7.21%
8	一般消費財・サービス	7.16%
9	ヘルスケア	6.15%
10	情報技術	3.82%
合計		100.00%

※ セクターは、GICS（世界産業分類基準）の10業種分類で区分しています。
（GICSとはMSCI Inc.とS＆P（スタンダード・アンド・プアーズ社）との共同開発による業種分類基準であり、Global Industry Classification Standard の略称です。）

・表示桁未満の数値がある場合、原則四捨五入で処理しています。 ・4ページ～10ページに記載されている「*1～*6」の用語説明は、11ページに記載しています。

【取扱者（生命保険募集人）】
株式会社みずほ銀行

【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
お問合せ先： カスタマーサービスセンター
Tel 0120-933-399
アクサ生命ホームページ http://www.axa.co.jp/life/

変額個人年金保険(08)A型の投資リスク及び諸費用について

【投資リスクについて】

この保険は、積立金額および解約払戻金額などが特別勘定資産の運用実績に応じて変動(増減)するしくみの変額個人年金保険です。
特別勘定資産の運用には、資産配分リスク、株価変動リスク、金利変動リスク、信用リスク、カントリー・リスク、流動性リスク、為替変動リスク、派生商品取引のリスクなどがあり、ご契約を解約した場合の解約払戻金額などが一時払保険料を下回る場合があります。
特別勘定資産の運用実績が積立金額に直接反映されますので、これらのリスクはご契約者に帰属し、ご契約者が損失を被ることがあります。
特別勘定(ファンド)における資産運用の結果がご契約者の期待どおりでなかった場合でも、アクサ生命または第三者がご契約者に何らかの補償、補填をすることはありません。

【諸費用について】

この保険では、ご契約時は「契約初期費」、据置期間中は「保険関係費」「運用関係費」の合計額、年金受取期間中は「年金管理費」をお客さまにご負担いただきます。

〈ご契約時〉

項目		費用	ご負担いただく時期
契約初期費	ご契約の締結などに必要な費用	一時払保険料に対して 5.0%	特別勘定(ファンド)に繰り入れる際に、一時払保険料から控除します。

〈据置期間中〉

項目		費用	ご負担いただく時期
保険関係費	年金原資額の最低保証、死亡給付金額の最低保証、 災害死亡給付金額のお支払い、 およびご契約の維持などに必要な費用	特別勘定(ファンド)の 積立金額に対して 年率2.95%	積立金額に対して 左記割合(率)を乗じた 金額の1／365を、毎日、 特別勘定(ファンド)の積立金額から 控除します。
運用関係費	投資信託の信託報酬など、 特別勘定(ファンド)の運用に必要な費用	投資信託の純資産総額に対して 年率0.315%程度※1 (税抜:0.30%程度)	特別勘定(ファンド)にて利用する 投資信託における純資産総額 に対して左記割合(率)を乗じた 金額の1／365を、毎日、 投資信託の純資産総額から 控除します。

※1 運用関係費は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。
信託報酬の他、信託事務の諸費用など、有価証券の売買委託手数料及び消費税などの税金などの諸費用がかかりますが、
これらの諸費用は運用資産額や取引量などによって変動するため、費用の発生前に具体的な金額や計算方法を記載することが困難であり、
表示することができません。また、特別勘定(ファンド)がその保有資産から負担するため、基準価額に反映することとなります。
したがって、お客さまはこれらの諸費用を間接的に負担することとなります。
これらの運用関係費は、運用協力会社の変更・運用資産額の変動などの理由により、将来変更される可能性があります。

〈年金受取期間中〉

項目		費用	ご負担いただく時期
年金管理費	年金のお支払いや管理など に必要な費用	年金額に対して 1.0%※2※3	年金受取日に責任準備金 から控除します。

※2 年金支払特約などによりお受け取りいただく年金を含みます。
※3 年金管理費は、将来変更される可能性があります。

用語説明

＊1「バークレイズ・キャピタル日本10年国債先物インデックス」とは、バークレイズ・バンク・ピーエルシーの投資銀行部門であるバークレイズ・キャピタルが開発、算出、公表を行うインデックスであり、日本10年国債先物期近限月への投資のパフォーマンスをあらわします。当該インデックスに関する知的財産権およびその他の一切の権利はバークレイズ・キャピタルに帰属します。
＊2「バークレイズ・キャピタル米国10年国債先物インデックス(円ヘッジ)」とは、バークレイズ・バンク・ピーエルシーの投資銀行部門であるバークレイズ・キャピタルが開発、算出、公表を行うインデックスであり、米国10年国債先物期近限月への投資のパフォーマンスをあらわします。当該インデックスに関する知的財産権およびその他の一切の権利はバークレイズ・キャピタルに帰属します。
＊3「バークレイズ・キャピタル・ユーロ10年国債先物インデックス(円ヘッジ)」とは、バークレイズ・バンク・ピーエルシーの投資銀行部門であるバークレイズ・キャピタルが開発、算出、公表を行うインデックスであり、欧州の10年国債先物期近限月への投資のパフォーマンスをあらわします。当該インデックスに関する知的財産権およびその他の一切の権利はバークレイズ・キャピタルに帰属します。
＊4「TOPIX(東証株価指数、配当込み)」とは、東京証券取引所第一部に上場されている普通株式全銘柄の浮動株調整後の時価総額を指数化し、配当収益を考慮したインデックスであり、市場全体の動向を反映するものです。TOPIX(東証株価指数)は、株式会社東京証券取引所(以下(株)東京証券取引所)の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用など株価指数に関するすべての権利は(株)東京証券取引所が有しています。
(株)東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止、またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。
＊5「S&P500株価指数」とは、米国株式市場の大型株のパフォーマンスを測定する指標です。当インデックスは、市場規模、流動性、業種代表性に基づいた多岐にわたる産業の株式銘柄から構成された時価総額加重型インデックスで、浮動株調整されています。当インデックスは、買収、合併、新株引受権などの資本構造の変化を反映しています。
当インデックスに関する知的財産権およびその他の一切の権利はスタンダード&プアーズに帰属します。
＊6「ダウ・ジョーンズ・ユーロ・ストックス50種インデックス」とは、欧州主要国を代表する企業50社を対象としています。ダウ・ジョーンズ・ユーロ・ストックス50種インデックスは、上場投信(ETF)、先物&オプション、ストラクチャー商品などの幅広い金融商品の原資産として使われています。当インデックスに関する知的財産権およびその他の一切の権利はダウ・ジョーンズに帰属します。

【取扱者(生命保険募集人)】
株式会社みずほ銀行

【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
お問合せ先:　カスタマーサービスセンター
Tel 0120-933-399
アクサ生命ホームページ http://www.axa.co.jp/life/